

風雅毛文

第2回「風雅のまちづくり」国際シンポジウム

〈きれいさび〉から

〈おもむきやびつ〉まで

2009年10月26日(月)
13:30~18:00

京都大学大学院 人間・環境学研究科
地階大会議室 (京都市左京区吉田二本松町)

第1部

講演1 離通のパラドックス — 美学と反美学のあいだで
マイケル・F・マルラ (カリフォルニア大学ロサンゼルス校教授)

講演2 きれいさび・バロック・ポストモダン
篠原 資明 (京都大学大学院教授)

第2部

討論
コメンテーター 岩城 見一 (京都国立近代美術館前館長)
尼ヶ崎 彬 (学習院女子大学教授)
岡田 温司 (京都大学大学院教授)

司会 問宮 嗣介 (京都大学大学院教授)

第1部・第2部 同時通訳付

参加無料 事前申込不要 (お問い合わせ TEL 075-753-8654)

講演者／プロフィール

マイケル・F・マルラ (Michael F. Marra)

1956年生まれ、専攻、日本文学・美学、UCLA(カリフォルニア大学ロサンゼルス校)教授。
Kuki Shuzo: A Philosopher's Poetry and Poetics, University of Hawaii Press, 2004, The Poetics of Motoori
Norinaga: A Hermeneutical Journey, University of Hawaii Press, 2007.

篠原 資明 (しのはら もとあき)

1950年生まれ、専攻、哲学・美学、京都大学大学院人間・環境学研究科教授。
【トランスエステティック 芸術の交通論】(岩波書店、1992)、【ベルクソン—〈あいだ〉の哲学の視点から】(岩波新書、2006)。

主催／京都大学大学院人間・環境学研究科

共催／京都市・長浜市